

各文化センター質疑応答

センター名	説明会日程	質問内容	回答
中央	8月18日	市の職員は何人いるのか？そのうち何%が市内在住で、発災時に素早く動員できるのか？平日の昼間や休日の夜間などによって、初動体制が変わってくると思うが、どのくらいで参集できるかという想定はしているのか？市役所がどこまでやってくれるのかによって、自治会で行う共助の取組も変わってくるので、その部分をはっきりしてほしい。	市の職員は約1,200人で、そのうち約50%が市内在住です。細かく時間帯を区切った参集想定は、現在は出しておりません。この連絡会においては、横のつながりを作るということも、1つのメリットであると考えております。横のつながりとは、近隣自治会同士のつながり、事業所などの他の活動主体とのつながり、また各自治会と行政とのつながりを強めるということも1つの狙いでもあります。これまでの府中市自主防災組織連絡会議では、各町の代表37名で構成されており、市内400ある個々の自治会の声を拾いにくいという課題もありました。今後は連絡会の中で、個々の自治会と行政が顔をつき合わせて、皆様の不安に感じていることを聞いたり、研修会や勉強会を通して、共助と公助の役割分担を決めていければと考えております。
		自分の地域の自治会は65歳以上の高齢者が多く、なかなかこういった会議にも参加しづらい。	多くの自治会で、自治会員の高齢化や自治会の規模が小さい（世帯数が少ない）という理由から、防災分野に限らず、自治会活動が活発に行えないといった声を聞きます。この連絡会では、他団体との連携といったことを目的としているので、高齢者が多く、活動がしづらいといった自治会にこそ積極的にご参加いただき、隣接する自治会と合同で防災対策を行うなど、課題の解決につなげていければと考えております。
		府中第一中学校からも防災会議の通知が届いたが、どう関連しているのか？いろいろところで同じ議題の会議を開催されると負担が大きくなってしまう。	既に一部の学校で、各学区の自治会などの地縁団体と学校が協力して避難所運営マニュアルを作成しているところもあると思います。この連絡会では、避難所の運営だけではなく、地域の防災力を高めるためにさまざまな活動を行っていく予定ですので、場合によっては避難所の運営に関して学校と連携することもあると思います。ご負担になってしまう部分もあるかと思いますが、この連絡会で得た知識やノウハウを学校の防災会議でも活かしていただければと思います。
		府中市自主防災組織連絡会議では、これまでの各町の代表を集めて会議を運営しても、なかなか各地域の防災力の向上につながらないという問題があり、以前から全自治会に声をかけたほうがいいという話が出ていた。どういった区割りで会議を運営していけばいいかという部分では、学校単位がいいのか、市内に18ある消防団分団ごとの区割りがいいのかなど話が出た。しかし、自治会は文化センターで把握していることもあり、文化センター区域で分割することにした。	

各文化センター質疑応答

センター名	説明会日程	質問内容	回答
中央	8月18日	<p>地域の防災力を向上させるために、ある程度強制的にこういった会議に参加させる、自主防災組織を結成させるといったことを、行政のほうから指示できないか。</p>	<p>自治会や自主防災組織自体が任意の団体であるため、強制的に参加させるといったことは難しいです。                      防災活動をはじめ、自治会活動の活性化という部分は行政の課題でもございますが、地域の活動が活発ではない地域は、地域の活動を負担に感じてしまっているところが多いのかなと思います。                      この連絡会では、まずは地域の皆様に情報交換の場を提供し、地域の特性、弱みを把握していただくことで、課題の解決策を図っていくということを目的としておりますので、何かイベントのお手伝いをお願いするといったことではございません。                      本日ご欠席されている自治会さんにも、この連絡会の目的、趣旨を説明し、なるべく多くの団体にご参加いただきたいと思います。</p>
		<p>運営に関わる費用はどうなるのか。会費を徴収するのか。                      また、連絡会に参加する人員は、各自治会から何人か手伝いを集めたほうがいいのか。</p>	<p>現在、会員となった皆様から会費を徴収するといったことは全く考えておりません。                      また、この連絡会では近隣の団体との情報共有、地域の特性の把握といった部分から始めていくので、基本的には各自治会から1名の方がご出席いただき、連絡会の情報や知識をそれぞれの自治会に持ち帰って共有していただければと思います。</p>

## 各文化センター質疑応答

センター名	説明会日程	質問内容	回答
白糸台	8月20日	横浜市などは、災害の危険があるときは、急傾斜地の地域の自治会などに連絡するという情報体制ができています。共助に取り組む前に、行政が何をしてくれるのか教えてほしい。	情報連絡体制については、先ほどご説明したようなメール配信システムを利用した市民への情報提供を予定しております。連絡会の運営の中で、研修会や勉強会を通して、行政が行うべき公助と、地域の皆様にお願ひする自助・共助について、しっかり役割分担できればと考えております。
		運営費はどうなるのか。個別の自治会で行っている防災活動では、お金の面での悩みが多い。費用がなくて大規模な訓練ができないといった課題もある。本連絡会においては、金銭面での支援もお願いしたい。	本連絡会の運営費は、皆様から会費を取るようなことは考えておりません。連絡会の運営の中で、地域の特性、弱みを把握し、課題解決に向けた対策を立てる中で、行政としても可能な限りの支援を行いたいと考えています。
		災害時のハザードマップはどこで見れるのか？ また、説明の中であったメール配信システムはいつからサービスを開始するのか？この連絡会に参加している人だけに送信するのか、市民全員に情報提供するのか。	ハザードマップは今年3月に全戸配布した防災ハンドブックに掲載しているのと、HPでも公開しております。メール配信システムについては、既にシステム構築に向けて動いておりますが、いつから、誰に情報提供するかなど、細かい部分はこれから検討してまいります。緊急時に自治会長だけに送信されても、初動対応時の機動性に欠けるというご意見もあるかと思っておりますので、そういった意見も含めて検討してまいります。
		行政は団体だけ立ち上げて、後の運営は丸投げという形が多い。1つ1つ着実に課題をクリアして行って、着実に階段を上るように運営を行っていただきたい。この連絡会が、確実に独り立ちするまで、行政とともに歩いていくような運営をしないと難しいと思う。	会の活動が軌道に乗るまでは、市が運営を行うこととなりますが、連絡会の回を重ねる中で、運営に必要な支援として何が必要か精査し、将来的には皆様方に連絡会の運営をお任せしたいと考えておりますが、そうなった後でも行政として必要な支援は継続して行う予定です。
		白糸台は規模の大きい自治会がたくさんあり、活発に活動しているが、地域によっては、数世帯から数十世帯の小さな自治会ばかりでほとんど自治会活動を行っていないところがある。そういったところは、こういった連絡会にも参加しないと思うが、どう考えているか。	他の圏域での説明会でも、活発に活動している自治会は説明会にも積極的に参加してくれておりますが、小さな自治会はこういった地域活動を負担に感じてしまうためか、なかなか参加していただけない実情がございます。私どもとしても、そういった活動が盛んでない自治会にこそ参加していただき、世帯数が少ないという理由で防災訓練ができないというような悩みを抱えているのであれば、この連絡会を通して、近隣の活発な自治会と合同で防災対策を行うなど、課題解決の場としていただきたいと考えております。そのため、この説明会にご欠席されている自治会さんにも、個別に資料送付、趣旨説明を行い、1つでも多くの自治会にご参加いただけるよう取り組んでまいります。

## 各文化センター質疑応答

センター名	説明会日程	質問内容	回答
白糸台	8月20日	自治会の高齢化が進んでおり、活発に活動できない組織もあるため、連携といったことが難しいという問題もある。消防団や青年会など若い世代を連絡会に取り入れてはどうか。	確かに自治会員の高齢化により、防災分野に限らず、自治会活動が停滞しているという声を多く聞きます。今後、2回の準備会を通して、アンケート調査等を行い、地域の皆様が不安に思っていること、抱えている課題の洗い出しを行う予定です。そういった中で、高齢化のため、自治会で活発に活動できないといったご意見があれば、課題の解決のために、消防団、青年会、PTAなど若い世代との連携を図るといった対策を講じていければと考えております。
		既存の組織である府中市自主防災組織連絡会議は今後どうなっていくのか？	本連絡会の活動が本格的に始まる来年度を目処に発展的解消を予定しております。
		同じ文化センター圏域で活動しているコミュニティ協議会との関係はどうか。	防災分野においては、隣保協働や向こう三軒両隣といったような考え方が重要になってくることから、地域の最小単位である自治会にお集まりいただき、自治会が中心となって連絡会を運営していただきたいと考えております。 しかし、連絡会が地域の防災力を向上させるためにPTAや学校、民生委員やコミュニティ協議会など他の活動主体との連携が必要であると認めた場合には、オブザーバーとして参加を求めるなど柔軟に対応していただければと考えております。

各文化センター質疑応答

センター名	説明会日程	質問内容	回答
西府	8月21日	11月に第1回の準備会ということだが、準備会までに何かやることはあるのか。	準備会では、活動要領（案）の作成、正副会長の選出などを行う予定でおります。また、皆様が地域で抱えている課題などを探るために、アンケート調査も実施させていただきます。第1回の準備会で皆様に提示させていただく予定なので、第1回の準備会までにやっておいていただくことは特にございません。
		東芝町は片町にある消防団の担当区域だと聞いている。文化センター圏域で連絡会を作ると、消防団の持ち場の区域が異なってくるが、どう考えているか。	確かに、消防団の担当区域は、文化センター圏域と異なっております。学校圏域単位などで取り組んでも、どうしても圏域が異なってしまいます。連絡会の運営の中で、各消防団分団と連携が図れればと考えております。
		具体的に何年までにどんな事を決めていくというような計画はあるのか。	そこまで具体的なことは決まっておりませんが、来年6月には発足したいと考えております。
		文化センター圏域というと〇〇町〇丁目が西府文化センターの圏域といった区割りがあると思うが、そういったことも提示してくれるのか。	今後、連絡会の中で提示していきたいと考えております。
		郵送で通知を送付しても参加率が上がらないのでは？参加してもらいたいなら、直接話をして呼びかけるなどの取組が必要ではないか。	おっしゃるとおりだと思います。本日の説明会にご欠席されている自治会もいらっしゃるのでは、資料の送付や、もしくは直接ご説明するなどして、なるべく多くの方にご参加いただけるように取り組んでいきたいと思っております。
		本宿町四丁目自治会は、防災訓練に警察には参加してもらったことがない。今後、警察との連携も必要だと思うので、参加してもらいたいが、どう届出すればよいか。	基本的には、直接警察署にご連絡いただければと思います。
		来年2月の防災講演会の日程は具体的に決まっているのか。	2月7日（日）を予定しております。
		自治会未加入者への対応はどう考えているか。	この連絡会では、自治会の代表の方のご参加のみで、自治会未加入者の方の個人の参加は考えておりません。ただ、この連絡会を通して、各自治会の防災活動を活性化させていただくことで、防災というツールを利用して、自治会未加入者の方にも積極的に自治会活動に参加していただくきっかけになればと考えております。

各文化センター質疑応答

センター名	説明会日程	質問内容	回答
武蔵台	8月21日	<p>自治会長が知識を得たとしても、住民に関心をもってもらえない。災害から日が経つと忘れてしまう。そんな中で訓練に人を集めるのは大変である。私の自治会では、1ヶ月に1回の会議の後に訓練に強制参加してもらって、関心をもってもらっている。ハンドブックを配っても見ない人もいる。実際に避難所に行っても誰がリーダーだか分からない。</p>	<p>おっしゃるとおり、ここに集まった人が防災に精通するだけでは意味がありません。災害が起こった時のことを想定した防災カルテ等で危機感をもっていただいたり、地域の代表の方がお住まいの場所の災害情報を伝達していただきたいと考えております。また、避難所は真夏の暑い日に住民自ら進んで行きたいと思うような場所ではありません。ここで得た情報を自治会員に共有していただきたいです。この会で出た意見は地域にとって重みがあると考えております。</p>
		<p>七中の避難所計画などもそうだが、横の連携に支援をしてほしい。訓練に参加できない人にとって本当に必要な支援をしてほしい。スタンドパイプ訓練の意識付けなど、一昨年・昨年と数自治会合同で訓練している。東京都からの指導や補助を受けながら実施しているが、市も有効な支援をしてほしい。何もないと人は集まらない。</p>	<p>既に横のつながりが出来ていて、他自治会と連携している自治会様のお言葉でしたが、この連絡会では出来ない自治会についても横のつながりを作ってコーディネートしていきたいと考えております。避難所運営と現状では連携が出来ておりませんが、状況に応じてオブザーバーとして呼び出していきます。災害時には、自治会の班など顔見知りの共助が有効となります。婦人会等の任意団体ではどうしても規模が大きくなるため、最小の自治会単位で実施していきたいと考えております。</p>
		<p>とても良い取組だと思うが、まだ地域がそこまでいっていない。実際災害が起きたら、何をしたらいいのか知ることから始めたい。武蔵台圏域がどの程度の住宅密集・災害危険性・延焼危険性があるのかまとめた資料を次回の準備会で配布してほしい。先日の地域盆踊りの際に、災害想定のため直火で流しそうめんをした。実際自分たちもやっているんだというところを知りたい。アンケートなどを実施して、災害について家庭での話し合いをしているか、帰宅困難についてどう考えているかを聞いてほしい。</p>	<p>まさにそのことをやりたいと考えております。楽しんでイベントをしつつ、防災に関連付けするのも有効だと思いますので、皆で一番良いことを共有していきます。</p>
		<p>防災対策資源回収をやっている。朝、資源回収場に集まってあいさつする。このコミュニケーションで震災のとき顔の見える関係を作ることが有効だと思う。</p>	

## 各文化センター質疑応答

センター名	説明会日程	質問内容	回答
武蔵台	8月21日	<p>自治会の役割で防災はとても大切だと思う。今日は自治会の役員を呼んだということだが、全員が来ればこの会場は埋まるのか？オブザーバーは最初から呼んだほうが良いのでは？講演は意識付けに有効だと思うが、各文化センター毎にミニサイズですることは出来ないのか？危機感を呼び起こせるようなことが最初にあると良い。団体の代表を呼べば意思統一が出来ると思う。</p>	<p>会長全員がいらっしゃれば文化センター講堂が埋まるだけの自治回数があります。タイミングの問題や、説明会ということで趣旨が上手く伝わらずいらっしゃらなかった自治会さんもありますが、今後丁寧に説明してまいります。継続して一つでも多くの自治会さんに参加してもらえるよう声かけをしていきます。オブザーバーを初めから呼ぶという意見についてですが、まず要綱等を自治会さんに作成してもらいたく声かけしたところですが、必要であればオブザーバーへの声かけも平行してまいります。講演について気持ちは分かりますが、講師を11館に派遣するというのは物理的にも財政的にも厳しいところです。山村先生のお話はとても面白く、グリーンプラザは多人数の入場ができますので、是非聞きに来ていただきたいところです。</p>
		<p>地域の集まりに興味がある。子どもの帰宅困難等について地域と連携していきたいと考えている。来月にも七中・武蔵台小合同で訓練するので、地域自治会にも是非来てほしい。</p>	<p>最終的に地域に若い人がいないとなると、小・中学校生徒、親御さんとの連携が必要となります。訓練のPRをされていましたが、今後もどんどん参加を促す場として活用いただければと思います。</p>

## 各文化センター質疑応答

センター名	説明会日程	質問内容	回答
新町	8月19日	新町圏域の自治会でもコミュニティ協議会に自治会は数団体しか加入していない。人を集めるのは難しい。	地域自主防災連絡会はコミュニティ協議会とイコールということではなく、圏域の自治会を対象として防災について情報共有を図る場です。必要に応じてコミュニティ協議会のような既存の団体とは連携を図っていただければと考えておりますが、地域の最小単位である自治会が中心となって運営していきたいと考えております。
		加入は任意か強制か。	強制ではなく、あくまで参加は任意です。
		まずは出来ることから始めるのが大切だと思う。	出来ることから始めて、活動の内容はホームページ等に掲載することでPRを進めます。また、参加されなかった自治会様に対してもメリットに感じるような情報を議事録送付などの形でPRしていくことで、少しずつ活動の幅を広げていきたい。
		何らかの形で参加の意思を示す必要はあるのか。	11月準備会の案内送付に、参加の意思確認に関する書類を同封させていただき、記入して準備会にお持ちいただく予定です。
		自治会の金銭的な負担はあるのか。	市が施策の補助等は全面的にバックアップします。自治会から会費等をお願いすることは考えておりません。

## 各文化センター質疑応答

センター名	説明会日程	質問内容	回答
住吉	8月18日	地域の防災には避難場所に行って確認することの積み上げが大切だと思う。南町東部自治会では地域避難所はどこに行くかを決めていないので、決めていきたい。	3月に全戸配布したハンドブックで避難所について示しておりますが、地域避難所について市が自治会にどこに行くかの指定はしておりませんので、今後会の中で検討をしていきたいと考えております。
		私の自治会も地域避難場所は決まっていない。指定避難場所は学区域にしてほしい。そもそも学校の体育館は照明が吊ってあったりして安全なのか。想定しにくい部分もあるが、本当に機能するのか。自治会でも地図などを作っているが、年数が経つと状況が変わって非常時に機能するのか。平日に災害が起きても親と子どもだけでは対応できるのか。若い人たちに防災意識をもってもらうためには、安心安全の活動でいいのか。災害から時間が経つと意識が薄れていってしまう。防災訓練をしても若い人の参加がない。講演会など開くと自分のまちを自分で守るのは分かるのだが、本当に出来るのかが不安。	ご不安があるのは分かるので、この会を利用して情報共有をすることで、不安を強みに変える場にしていきたいと考えております。地域避難所となる体育館の安全につきましては、今年全校で吊り照明等の落下防止対策工事をすると聞いております。
		これは要望だが、自助共助を言うなら公助を明らかにしてほしい。内閣府の調査で地域調査を例として出していたが、都市型と地方型の災害では意味が違う。津波の例など出されても府中にはないので、洪水などを出してほしい。多摩川は大雨の際に堤防近くまで水が上がってきたが、広域避難所は河川敷を指定して良いのか。地震と洪水が同時に来るかもしれない。一戸建てと高層住宅では性質が全く違うので、単純に文化センター圏域で分けるのは無理ではないか。	3月に配布している防災ハンドブックやJ:COMのまるごと府中テレビ広報等で公助の範囲を含めて、市民の皆様に広く継続的にご案内しているところです。広域避難場所については、市としても同意見です。一戸建てと高層住宅の違いについては、今後のこの会で検討する議題としてあげていただきたいと考えております。

各文化センター質疑応答

センター名	説明会日程	質問内容	回答
是政	8月19日	この連絡会で想定されている災害は何か？また、どういった災害を取り扱うかは行政のほうで決めていくのか。	連絡会で取り扱う災害は、地震、風水害、火災といったこの地域に起こりうる災害を全て取り扱う予定です。連絡会の運営を行う中で、アンケート調査を行い、市民の皆様が何に不安を感じているのか、どういった課題を持っているのかを調査させていただき、調査の中から、どういったことに取り組んでいくのか、何を優先的に解決していくのかを決めて、議題としてあげていきたいと考えております。
		自分の自治会でも災害対策をしており、防災訓練では初期消火訓練や起震車体験などを実施している。しかし、いざ災害が起きたときに、どこに避難するか、どうやって情報を得るかなどが決まっていない。そういったところに取り組んでほしい。	連絡会の中で進めていく予定です。
		災害直後の初動には、各単位自治会の活動だけでは限界がある。発災時には近隣自治会との連携が大事だと思う。	
		清水丘三丁目自治会と合同で防災訓練を行っている。災害が起きた際の高齢者の避難誘導を迅速に行うためには、どこに高齢者などの要配慮者がいるか、市も把握しておかなくてはいけないと思う。	そういったことも、この連絡会で各自治会との情報共有し、進めていく予定です。
		この連絡会の情報を持ち帰って、自治会の方にお伝えしたいが、準備会はこういった活動内容なのか？早めに通知がほしい。	地域の課題を把握するため、皆様にアンケート調査を行ったり、活動要領を定めたり、正副会長を選出したりするための準備会を行う方向で考えています。予定が決まり次第、自治会長宛に早めに通知したいと思います。

## 各文化センター質疑応答

センター名	説明会日程	質問内容	回答
紅葉丘	8月17日	この組織は、地域のいろいろな組織を集約した組織と考えていいのか？	防災分野においては、隣近所のお付き合いや自治会の班組織など地域の最小単位の活動をまとめている自治会を中心とした連絡会を組織することとしました。なお、連絡会が地域の防災力を向上させるためにPTAや学校、老人会、婦人会、民生委員・児童委員、そしてコミュニティ協議会の役員など他の活動主体との連携が必要であると認めた場合には、オブザーバーとして参加を求めるなど柔軟に対応していただければと考えております。
		第十小学校で地域防災会議があるが、それとの兼ね合いは？	一次避難所である学校を拠点として、既に学校と地域が連携し、防災対策に取り組んでいる地域があることは把握しております。この連絡会では、避難所の運営だけではなく、地域の防災力を高めるためにさまざまな活動を行っていく予定です。
		同じ自治会から2、3人出てもいいのか。	複数の方にご参加いただくことについては問題ないです。ただし、連絡会全体の人数規模等や会場の都合により1自治会からの参加人数に上限を設けることはあるかと思えます。
		この説明会は誰に通知を送付しているのか。出席者が少ない気がするが。	紅葉丘文化センター圏域の15自治会長に送付しております。横のつながりを作るのも地域自主防災連絡会の1つの目的でありますので、ご欠席された自治会さんには資料送付、内容説明をして、1団体でも多くの自治会にご参加いただけるよう取り組んでまいります。
		各自治会で行っている防災訓練との兼ね合いは。	本連絡会では、防災に関する地域の現状やそこから見える様々な問題を会の皆さん自身が主体的に考え、「災害に強いまち」を上げるために、研修会や勉強会、図上訓練等を通して課題の解決が図れるよう、地域の実情がある程度似通っている近隣の自治会が集まり、防災に関して協議が行える場を提供するものです。 したがって、本連絡会において得られたノウハウを既存の組織で実施している防災訓練や避難所運営協議会の活動に生かしていただきたいと思います。
		予定では平成28年6月に発足とあるが、本当にできるのか。	タイトなスケジュールであることは承知しておりますが、来年6月の発足を1つの目標としております。

## 各文化センター質疑応答

センター名	説明会日程	質問内容	回答
押立	8月24日	地域自主防災連絡会の準備会がこれから進んでいくようだが、我々個々の自治会はどのような準備や心構えをしていけばよいのか。	まずは連絡会に参加していただき、押立地区が置かれている防災の現状はどのようなものなのかを皆さんと考えていきます。 例えば、高齢者が多いため、自治会単独で防災訓練を実施したことがないなど、現状の問題を洗い出して、この場を活用して他の自治会と連携した防災訓練を実施してみるなど、次につながる取組みや協議を行っていただければと考えておりますので、各自治会で何か準備をしておくといった必要はありません。
		現状37町で行われている自主防災組織連合会という組織とはどういったものか。	市内には押立町をはじめとして白糸台、小柳町など全部で37の町があります。 なお、現在までに139の自治会や町会が市に自主防災組織として登録して頂いており、各町に複数ある自主防災組織の中から代表の組織の方に府中市自主防災組織連絡会議にご出席いただき、自主防災活動の先進事例の紹介や研修会などを実施してまいりました。その情報や報告をお持ち帰りいただいて各町の自主防災組織に広めていただくようお願いしておりましたが、各町の自主防災組織や自治会同士の横のつながりが希薄化している地域が見受けられ、連絡会議としての機能を果たせなくなっているのが現状です。このようなことから、全ての地域の全ての自治会を対象に防災に係る連絡会を創設し、地域毎に防災に関する現状の把握や問題の洗い出しを地域で一緒に行えるようにするといったコンセプトで今回、文化センター圏域の全ての自治会を集めたこの組織の立上げを考えさせていただきました。
		例年11月に文化センターでコミュニティ協議会主催の防災訓練を行っているが参加者がほとんど来ない現状がある。	今後この連絡会を活用して回覧を作成するなど、コミュニティ協議会主催の防災訓練を広く周知することも可能かと考えます。 また、参加者が集まらないという押立の現状から、なぜ参加者が少ないのか、また、押立の地域特性といったところを検証して、押立の防災訓練に足りないものを新たに盛り込んでいくことで、参加者の増加や地域の実情に合わせた形の防災訓練に発展できればと考えています。
		府中市自主防災組織連絡会議と今回の地域自主防災連絡会の関係性はどういったものか。また、これから連絡会が運営されるとのことだが、自治会では役員の選出すら大変な状況で運営も心細い態勢で行っているなか、自治会として必ず参加しなければならないのか自治会に持ち帰って説明する必要がある。	地域自主防災連絡会と既存の組織とは基本的には関連性はありません。ただし、センター圏域毎に連絡会には正副会長を置き、それぞれの地域で浮き彫りになった問題や課題の解決策などの取組状況を情報交換できるような全体を調整する場は設定したいと考えております。 なお、既存組織については発展的解消を行う予定です。 また、自治会や地域の実情は様々ですので参加は任意ですが、積極的な参加をお願いしたいので防災に関心のある方や防災に詳しい方に自治会の代表としてご参加いただければありがたいと考えています。
		押立は1丁目から6丁目までであるが、どの自治会に声が掛かっているのか。	基本的には、市に自治会または町会（集合住宅の管理組合を含む）としてご登録頂いている団体には全て声を掛けさせていただいております。 なお、押立文化センター圏域では19の自治会・町会の登録がありますので、全ての団体にご案内しております。

各文化センター質疑応答

センター名	説明会日程	質問内容	回答
押立	8月24日	防災についての自治会や町会の横のつながりを作るといったことなのか。	その通りです。単独の自治会では防災訓練等の実施が困難な場合でも、合同で実施するなど、協力して行うなどの取組が出来ることも目的の一つになります。
		管理組合しかないような集合住宅にも声はかけているか。	市に自治会として登録している管理組合には連絡しています。今後は自治会としてまだ登録していないマンションの管理組合などに対してこの事業を通して、地域の防災上の問題や課題について一緒に共有して考えてみませんかといったところから、地域の活動に新たに巻き込んでいければ良いかと考えております。

各文化センター質疑応答

センター名	説明会日程	質問内容	回答
四谷	8月20日	7月に行った日新小学校での打ち合わせ会との関係は。	7月は総合防災訓練の打ち合わせで、あくまで訓練の打ち合わせでした。この会は地域の課題を見つけ、現状をもっと良くしていこうという狙いがあり、別の目的となっています。
		お声がけして会を開催することが難しい中、とても良い取組だと思う。防災では課題の選択を地域特性に合わせる事が重要だが、その点も良いと思う。今後の運営では案内等を市が作ることは可能か。各避難所運営と本会はどのような関係になるのか。共助はもちろん重要だが、事前の市の備蓄への支援が必要では。例えば地域自主防災倉庫を使うのか、個人ですべてやってくださいというスタンスなのか。	案内等の事務作業はまず市の方で全面的に支援をしていきたいと考えています。各避難所運営と、この連絡会は現状では関連はありませんが、地域の取組の中で必要に応じて関連付けていきたいと考えております。備蓄への支援についてですが、各避難所に備蓄している物資はあくまでも避難所運営のためのものです。非常時には救援に係る協定等を活用いたしますが、あくまで個人には自宅に3日分の備蓄をお願いしているところです。地域の自主防災倉庫につきましては地域の自主防災組織に貸与しているものですが、恥ずかしながら長年の経過の中で、鍵が適切に引き継がれなかったり、どの方が鍵を保管しているのか市が把握できなくなってしまっているところです。倉庫には救助活動に係る資機材等保管しておりますが、今後この会で倉庫の用途についても協議していきたいと考えております。
		資料に「文化センター圏域ごとに」とあるが、コミュニティ協議会の防災部会を興すのか、それとも独立して活動するのか。	四谷圏域について、コミュニティ協議会と自治会はイコールではないようですが、地域の最小単位である自治会を集めて活動したいと考えています。ただ、状況に応じてコミュニティ協議会をオブザーバーとして参加を求めるなど柔軟に対応していきたいと考えております。
		要するにコミュニティ協議会の防災部門としてではなく、独立して活動するのか。	コミュニティ協議会とは別の組織として活動します。
		文化センターの圏域で分けると境目の自治会が分かりづらいので、避難所である学区域で分けたほうが良いのではないかと。中学校11校でやれば文化センターも数が同じ。	おっしゃるところは非常によく分かりますが、どこの地域を基準にして合わせるかという問題もあります。また、中学校だけでなく避難所となる小学校も合わせると市内に33校ありますが、このすべての圏域で対応ということになると、市役所職員の人数も限られている中物理的に困難なところもあります。新しい圏域をつくれれば、その境目で同様の問題が発生するなど、また別の弊害が出る可能性もあるので、この形でやりたいと考えております。
		文化センター圏域で防災について考えるのは構わないが、社会福祉協議会の活動やごみ・福祉など市役所の内部で意見を統一してもらいたい。	なかなか難しいところもありますが、前の意見と逆の意見になっており、活発な意見交換が出来るのは面白いと考えます。文化センター圏域で会を立ち上げるのは市長の意思も関わっているところです。市長は文化センター圏域は宝だと申しております。
		これは要望だが、コミュニティ協議会や学校との連携について整理してもらいたい。	今後、市が進めたいのは、情報共有の場を作っていくことです。他の団体との連携については整理していきます。

各文化センター質疑応答

センター名	説明会日程	質問内容	回答
四谷	8月20日	実際に災害が発生したらこの会のメンバーが実行部隊として活動するのか。	この会ではつながりを作っていて、上手く非常時に動けるような仕組みを作ります。仕組みを踏まえて、実際の発災時には各自治会で対応・実行していただくことを考えております。
		課題を洗い出しても、実行するのが難しい。抽出してそれで終わりになるのではないか。	抽出した課題を訓練等に落として発災時に備えてほしいと思います。また、全体の連絡を通して既存あるいは新規事業でも活かしてほしいと考えます。
		会の中で頭として動く人を決めて、防火班や福祉班というところまで決めないといけないのでは。	あくまでこの会は情報交換の場とします。その上で、11文化センター圏域の情報を交換するところを目標とできればと考えます。
		情報交換云々ではなく、実行部隊が必要であると言っている。	おっしゃることはよく分かります。実は今回の説明内容であえて削除した項目に「地区防災計画をつくる」というものがあります。地区防災計画とは、改正された災害対策基本法の中でも地域主導で作成すると定められているものです。削除した経緯として、他の圏域等であまり防災活動をしてこなかった自治会にあまり高い目標を示しても引いてしまうと思ったのですが、四谷圏域の自治会は市が考えていたより意識が高いことが分かりました。単独の自治会だけでなく、まずは圏域内で連携してこういった計画を作っていくと良いと考えます。
		8中地区はモデル地区で避難所協議もかなり進んでいる。避難所に入れば安心だが、自治会をどのように避難させるのが重要。	四谷圏域の自治会は防災に関する取組が進んでおりますので、今後はそのレベルまですべての圏域・自治会を引き上げていきたいと考えます。

各文化センター質疑応答

センター名	説明会日程	質問内容	回答
片町	8月24日	<p>片町圏域に何団体の自治会があって、今日の説明会には何団体が出席しているのか。この連絡会の出席率をあげてほしい。災害が起きた時に地域の住民が一人でもお互いの顔を知っている環境を作っておいたほうが、より迅速な災害対応ができると思う。</p>	<p>片町圏域には50の自治会があり、本日ご出席いただいているのは、約20団体でございます。1つでも多くの自治会に参加していただきたいので、本日もご欠席されている自治会さんにも、この連絡会の目的、趣旨を直接お話しでご参加いただきたいと考えております。</p>
		<p>立川断層の被害想定があったが、5月16日に立川で行われた東京大学の研究チームの講演会で、立川断層は一部を除き、活断層である証拠は見つからなかったという研究結果を発表している。府中市の被害想定の内容も更新していくべきでは？</p>	<p>確かに立川断層が活断層であるという証拠は見つからなかったという研究結果を、5月に東京大学地震研究所が発表しました。これを受けて、政府が年度内に立川断層に関わる見解を発表するとのこと。その発表内容を受けて、東京都、各自治体のほうでも被害想定の見直しなどの対応を検討していく形になりますので、現在は平成26年度に修正した府中市地域防災計画の被害想定を基に防災対策を進めていく方向で考えております。</p>
		<p>既に小中学校を核として防災活動に取り組んでいるが、何故文化センター圏域なのか？</p>	<p>既に一部の学校で、各学区の自治会などの地縁団体と学校が協力して避難所運営マニュアルを作成しているところもあると思います。この連絡会では、避難所の運営だけではなく、地域の防災力を高めるためにさまざまな活動を行っていく予定ですので、場合によっては避難所の運営に関して学校と連携することもあると思います。</p>
		<p>自分の自治会では自主防災組織を組織しているが、ここ10年、自主防災組織という名称だけで具体的な活動はしていない。中心となってやってくれる人材がいないなどの理由から自治会内で防災活動が活性化しない。市内に消防団が18個分団あるが、そういった形で圏域を分けるなど根本的なところを変えないと、市の防災力は変わらないのではないか。</p>	<p>過去の震災や水災害においては、救助された方や支援を受けた方の多くが隣近所の助け合い（共助）によるものでした。このことから、隣近所のお付合いや自治会の班組織など地域の最小単位の活動をまとめている自治会を中心とした連絡会を組織することとしました。しかしながら、他の活動主体との横のつながりを作るといったこともこの連絡会の狙いの1つなので、消防団などの防災機関とも連携協力していければと考えております。</p>
		<p>先ほど自治会長以外の方が出てもいいという話があったが、誰もやりたがる人がいない。また、自治会に入っていない人はどうするのか。</p>	<p>役員のなり手がいないというのは1つの課題だと思います。活動に参加していただけない方は、こういった地域活動を負担に感じてしまっている部分が多いと思います。この連絡会では、まずは近隣の自治会との情報共有の場を作り、地域の特性、弱みを理解したうえで、課題の解決に向けて協議していくというのが目的です。参加することによるメリットを発信して1つでも多くの団体に参加していただきたいと考えております。また、自治会に未加入の方についても、この連絡会を通して自治会活動が活性化し、自治会に加入するメリットを感じていただくことで加入促進していければと考えております。</p>

## 各文化センター質疑応答

センター名	説明会日程	質問内容	回答
片町	8月24日	自治会によっては、半年や3ヶ月で自治会長が代わる自治会がある。自治会長になることが輪番制で義務的に行われており、自治会活動もほとんどしていない。そういったところが、自治会の防災担当の方を選出して、連絡会に出てくるとは思えない。自分の自治会では、アパートに移り住んでくる方にも自治会加入の勧誘のため、声をかけている。この連絡会でもそういった地道な取組が必要ではないか。	おっしゃるとおりだと思います。なかなかご参加いただけない自治会に対しても、粘り強く声をかけていきたいと考えております。
		土日の開催などは考えていないのか。	基本的には平日の夜間を予定しております。しかしながら、働いている方など、平日は会議に参加できない方がいるというのも、参加率が低い理由の1つとも考えられますので、今後検討してまいりたいと思います。
		震度5弱以上の地震が発生した場合、携帯電話にメールは届くのか。確か、東日本大震災の時は届いたと思うが……。震度5弱以上が発生した場合には地域の初動班（自治会員）も小中学校（避難所）に駆けつけることになっている。携帯電話にもメールが届くようにしてほしい。	東日本大震災の際に届いたメールは、非常時の回線混雑の影響を受けずに市内の携帯電話に、緊急性の高い災害・避難情報を一斉配信する「緊急速報メール」かと思います。これは気象庁が発信しているものであり、事前登録は必要ありません。今回ご説明しましたメール配信システムは府中市独自に実施しているもので、地震速報だけでなく、大雨・洪水、雷などの警報や注意報が発令された場合などの情報を随時送信させていただきます。
		説明の中であった来年2月の講演会の具体的な日程は決まっているのか？	2月7日（日）を予定しております。